

事業報告書

平成 29 年度

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日

地方独立行政法人佐世保市総合医療センター

目 次

1 現況	3
① 法人名.....	3
② 所在地.....	3
③ 役員の状況.....	3
④ 設置・運営する病院.....	3
⑤ 職員数.....	3
2 基本的な目標	3
3 事業の統括	5
4 中期目標の大項目ごとの特記事項	5
(1) 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組.....	5
(2) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組.....	5
(3) 財務内容の改善に関する目標を達成するための取組.....	5
5 中期目標の項目別の状況	6
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項.....	6
1 地域完結型医療の推進.....	6
2 提供する医療サービスの充実.....	6
(1) 救急医療.....	6
(2) がん医療.....	7
(3) 小児・周産期医療.....	7
(4) 高度専門医療.....	8
(5) 政策医療.....	8
3 医療人育成体制の充実.....	9
(1) 医師の研修制度の充実.....	9
(2) 看護師・薬剤師をはじめとする医療従事者の育成の充実.....	10
4 医学研究の推進.....	12
5 医療の質の向上.....	12
(1) 施設、設備の充実.....	12
(2) 医療従事者の確保.....	12
(3) 患者サービスの向上.....	13
(4) 安全性の高い信頼される医療.....	14
(5) 臨床指標の充実及び開示.....	15
第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項.....	15
1 法人としての管理運営体制の確立.....	15
(1) 適正な法人管理体制の構築.....	15

(2) 効率的な病院運営.....	15
2 人材の確保と育成	15
第4 財務内容の改善に関する事項	16
1 経営基盤の確立	16
2 収益と費用の適正化.....	16
(1) 収益の適正化	16
(2) 費用の適正化	17
第5 その他業務運営に関する重要事項.....	17
1 救急ワークステーションの充実	17
2 ボランティア制度の活用.....	17
3 分かりやすい情報発信	18
6 佐世保市地方独立行政法人法の施行に関する規則で定める事項の実施状況	18
(1) 人事に関する計画.....	18
(2) 施設及び設備に関する計画.....	18
(3) 法第40条4項の規定により業務の財源に充てることができる積立金の処分に関する計画	18

地方独立行政法人佐世保市総合医療センター事業報告書

「地方独立行政法人佐世保市総合医療センターの概要」

1 現況

(1) 法人名

地方独立行政法人佐世保市総合医療センター

(2) 所在地

佐世保市平瀬町 9 番地 3

(3) 役員の状況 (平成 29 年 4 月 1 日現在)

役職名	氏名	備考
理事長	澄川 耕二	病院長
副理事長	赤瀬 隆彦	専務理事
副理事長	石川 啓	副院長
理事	早田 宏	副院長
理事	緒方 信子	副院長兼看護部長
理事	久保 次郎	佐世保市医師会会長
理事	前田 一彦	佐世保商工会議所会頭
理事	調 漸	長崎大学学長特別補佐
理事	立石 憲彦	長崎県立大学看護学科教授
監事	西村 浩太郎	税理士
監事	渡会 祐二	弁護士

(4) 設置・運営する病院

別表のとおり

(5) 職員数 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

781 人 (正職員)

2 基本的な目標

「地域の基幹病院として高度な医療を総合的に提供するとともに明日を担う医療人を育成する」という理念のもと救急医療、がん医療、小児・周産期医療、高度専門医療、政策医療を医療の 5 本柱とし、地域医療機関との連携及び役割分担のもとで、地域の医療の質の向上に寄与していく。地方独立行政法人制度の特徴を生かし、最大限の努力による住民・患者へのサービスの向上と効率的な病院運営を行う。

別表

病院名	佐世保市総合医療センター	
所在地	〒857-8511 長崎県佐世保市平瀬町 9 番地 3	
設 立	平成 28 年 4 月 1 日	
病床数	総数 594 床（一般病床 570 床、結核病床 20 床、感染症病床 4 床）	
診療科目（31 科）	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、血液内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、リウマチ科、緩和ケア内科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、リハビリテーション科、泌尿器科、脳神経外科、心臓血管外科、小児科、産婦人科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻いんこう科、救急集中治療科、麻酔科、放射線科、病理診断科、臨床検査科、歯科	
離島診療所	宇久診療所（病床数 17 床）、黒島診療所、高島診療所	
主な役割と機能	佐世保県北医療圏における基幹病院 ●救命救急センター ●臨床研修指定病院 ●救急告示病院 ●地域医療支援病院 ●地域がん診療連携拠点病院 ●地域周産期母子医療センター ●災害拠点病院 ●高次脳卒中センター ●エイズ治療拠点病院 ●病院機能評価（公益財団法人日本医療機能評価機構）3rdG:Ver.1.1 ●各学会認定研修病院	
敷地面積	【病院施設】 （本院） 22、894.35 m ² （宇久） 1、918.00 m ² （高島） 239.27 m ²	【公宅関係】 （本院） 7、584.77 m ² （宇久） 740.00 m ² （黒島） 105.00 m ²
建物規模	【病院関係】 （本院） 38,493.79 m ² （宇久） 1、406.51 m ² （高島） 100.75 m ²	【公宅関係】 （本院） 4,901.73 m ² （宇久） 258.10 m ² （黒島） 69.56 m ²

3 事業の統括

平成 29 年度の法人運営については、理事会、経営会議等の会議を計画的に開催し、迅速な意思決定を行うことで円滑な運営に努めた。

地方独立行政法人佐世保市総合医療センターの役割として、地域医療機関との役割分担・連携のもと、救急医療、小児・周産期医療、感染症医療、離島医療に取り組んだ。専門性の高い医療の充実として、内視鏡センター、あざ治療の運用を開始した。患者・住民に提供するサービスの向上としては、個室を改修し快適性の向上を図ったほか、外国人患者対応として院内表示の変更、通訳システムの導入し患者の利便性向上に取り組んだ。医療の質及び安全性の確保としては、法令・行動規範を遵守し、医療安全対策及び院内感染防止の研修を行った。経営に対する取り組みとしては、コンサルタントを導入し、外部の専門家の支援を取り入れながらの経営戦略、おもにコスト削減に取り組んだ。職員一丸となって年度計画達成に向けた取り組みを進めることができた一年であった。

4 中期目標の大項目ごとの特記事項

(1) 住民に対して提供するサービス及びその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取り組み

地域完結型医療の推進については、地域のかかりつけ医や病院等との連携を推進し、紹介率・逆紹介率ともに昨年度に引き続き 10%以上目標値を上回る結果となった。救急医療においても救急車やドクターヘリ以外での来院患者数は減少傾向にあり一次・二次医療機関との役割分担・連携が出来ている。政策医療である離島医療においては、昨年度 2 つの診療所において医師の退職があったが、今年度から医師の確保ができ、離島医療の充実に努めた。高度専門医療においては、昨年度末に完成した内視鏡センターの運用開始、地域からの要望に応えるため、これまで県外で治療が行われてきた小児を中心としたあざ治療を本院で可能となるよう医療機器を購入し、運用を開始した。

(2) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取り組み

法人 2 年目は、法人運営の確立へ向けた取り組みとして、院内での意思決定機関である経営戦略会議及び経営会議等の開催を定期的に行い、病院運営が効率的に実施できる体制の確立に取り組んだ。高額医療機器の購入や人員の確保等に対して、迅速に意思決定し、予算を執行することができた。

(3) 財務内容の改善に関する事項への取り組み

今年度は、コンサルタントを導入し、外部の専門家の支援を取り入れながらの経営戦略、おもにコスト削減に取り組んだ。予算に対しての柔軟性をもちつつ、的確な経営判断をし、必要な事業の展開は実施できた。

5 中期目標の項目別の状況

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1 地域完結型医療の推進

紹介率は、前年度とほぼ変わらない 91.6%、逆紹介率は前年度から 2.6%増の 87.7%と高い水準を維持できている。地域連携センターが中心となり、かかりつけ医等との連携を推進できた。また、地域を担う医療従事者を対象とした研修会も計画どおり開催でき、参加者数も増加していることから、地域の医療の質の向上に貢献できた。

紹介率等連携推進関係	平成 28 年度 実績値	平成 29 年度 目標値	平成 29 年度 実績値	目標値差
				前年度差
紹介率 (%)	91.7	90	91.6	1.6
【地域医療支援病院要件 65%以上】				▲0.1
逆紹介率 (%)	85.1	80	87.7	7.7
【地域医療支援病院要件 40%以上】				2.6
あじさいネットカルテ閲覧件数 (件)	2,266	2,300	3,040	740
				774

地域医療従事者対象の研修会	平成 28 年度 実績値	平成 29 年度 目標値	平成 29 年度 実績値	目標値差
				前年度差
①地域医療研修会 (回数 (回)・人数 (人))	(15) 613	(12) 500	(12) 626	(0) 126
				(▲3) 13
②救命救急研修会 (回数 (回)・人数 (人))	(5) 219	(6) 400	(5) 243	(▲1) ▲157
				(0) 24
③がん関係研修会 (回数 (回)・人数 (人))	(5) 113	(6) 120	(6) 326	(0) 206
				(1) 213
①～③の合計【地域医療支援病院要件年 12 回以上の開催】	(25) 945	(24) 1,020	(23) 1,195	(▲1) 175
				(▲2) 250
地域連携診療計画会議 (回数 (回)・人数 (人))	(62) 198	(60) 150	(69) 186	(9) 36
				(7) ▲12

2 提供する医療サービスの充実

(1) 救急医療

平成 29 年度においても一次・二次医療機関との役割分担・連携ができ、救急車・ドクターヘリ以外からの患者受入の減少傾向は継続しており、より重篤な患者の受入を行うことができた。また、佐世保市消防局との合同研修会も定期的に実施できており、救急搬送時の救急隊との連携強化を図ることができた。

救命救急患者搬送件数	平成 28 年度 実績値	平成 29 年度 目標値	平成 29 年度 実績値	目標値差
				前年度差
救急車・ヘリ搬送【受入】件数（件） 【救命救急センター要件 救急搬送受入数年 1000 回 以上】	3,385	3,000	3,348	348 ▲37
救急車・ヘリ搬送【入院】件数（件）	2,220	2,000	2,209	209 ▲11
救急車・ヘリ搬送以外の救急患者【受入】件数（件）	5,256	5,500	4,809	▲691 ▲447
救急車・ヘリ搬送以外の救急患者【入院】件数（件）	1,157	1,400	1,216	▲184 59

(2) がん医療

がん診療については、放射線治療機器の更新に伴い、放射線治療件数は減少したが、悪性腫瘍の手術件数、外来における化学療法件数は目標を上回る実績であり、集学的治療を実施できた。また、緩和ケア医師を確保し、緩和ケア内科を新設することにより緩和医療の充実を図り、がん診療体制の整備に努めた。

がん関係件数 ※がんに関する数値は、年単位で記載	平成 28 年 実績値	平成 29 年 目標値	平成 29 年 実績値	目標値差
				前年度差
がん入院患者数（実人員）（人）	3,582	3,500	3,272	▲228 ▲310
悪性腫瘍手術件数（件）	1,302	1,200	1,371	171 69
外来化学療法件数（件）	3,347	3,100	4,079	979 732
放射線治療法件数（件）	8,769	8,300	8,109	▲191 ▲660
がん相談件数（件）	1,827	1,400	1,621	221 ▲206
院内がん登録件数（件）	1,891	1,800	1,841	41 ▲50

地域がん診療連携拠点病院指定要件の達成

緩和ケア研修 院内研修修了者割合の達成	平成 28 年度 実績値	平成 29 年度 目標値	平成 29 年度 実績値	目標値差
				前年度差
がん診療において、がん患者の主治医や担当医となる 医師（%）	93.2	90	90.3	0.3 ▲2.9
初期臨床研修 2 年目から初期臨床研修終了後 3 年 目までの医師（%）	78.5	75	86.2	11.2 7.7

(3) 小児・周産期医療

周産期医療については、近年地域の産科医が減少傾向であったが、平成 29 年度は新規開業が 1 件あり、地域の医療機関で正常分娩を行い、リスクの高い異常分娩を本院が担うといった地域の産科医と連携ができた。小児医療では、引き続

き 9 名の小児科医の配置を継続し、地域の周産期・小児医療への貢献ができた。

小児・周産期医療関係	平成 28 年度 実績値	平成 29 年度 目標値	平成 29 年度 実績値	目標値差
				前年度差
正常分娩件数 (件)	34	40	16	▲24
				▲18
異常分娩件数 (件)	335	300	296	▲4
				▲39
NICU 病床稼働率 (%)	96.4	95.0	92.4	▲2.6
				▲4.0
GCU 病床稼働率 (%)	64.2	70.0	52.2	▲17.8
				▲12.0
小児病棟病床稼働率 (%)	64.7	65.0	57.3	▲7.7
				▲7.4

(4) 高度専門医療

手術件数、全身麻酔件数、MRI 撮影件数等は、昨年実績を維持し、目標値を上回ることができた。地域が必要とする高度な専門的医療の提供として、小児を中心としたあざ治療に対応するため、機器の購入をし、運用を開始することができた。

平成 28 年度末に開設した内視鏡センターにおいては、検査・処置数も伸びてきている。

手術・検査・処置件数等	平成 28 年度 実績値	平成 29 年度 目標値	平成 29 年度 実績値	目標値差
				前年度差
手術件数 (件)	4,866	4,500	4,831	331
				▲35
全身麻酔件数 (件)	2,452	2,300	2,451	151
				▲1
MRI 撮影件数 (件)	5,739	5,000	5,823	823
				84
CT 撮影件数 (件)	24,748	23,000	24,661	1,661
				▲87
内視鏡検査・処置件数 (件)	5,044	6,000	5,450	▲550
				406
血管造影件数 (件)	2,085	2,500	2,131	▲369
				46
人工透析件数 (件)	4,369	4,200	4,380	180
				11

(5) 政策医療

(離島医療に関する事項)

1) 宇久診療所 (一般 11 床・療養 6 床)

・17 床の有床診療所であることから、安心して安全な医療提供体制を維持するため、更新計画に基づき、医療機器 (心電図検査装置 5,184 千円ほか 2 件) などの整備を行った。

・収入 305,614 千円・支出 433,518 千円 (収支不足 127,904 千円)

2) 黒島診療所

- ・H29年6月から常勤医師の着任に備え、医師公宅の施設環境整備を行った。
- ・外来患者延数 1,822 人、収入 31,359 千円・支出 55,694 千円（収支不足 24,335 千円）

3) 高島診療所

- ・黒島診療所の常勤医師による定期診療（毎週水曜日）を行った。
- ・外来患者延数 314 人 収入 5,240 千円・支出 3,721 千円（不足差なし）
（結核病棟運営に関する事項）
- ・結核病棟運営による不採算経費 87,085 千円
（感染症医療に関する事項）
- ・第2種感染症病床（4床）の受入体制を確保した。
- ・感染症医療による不採算経費 35,733 千円
（災害医療に関する事項）
- ・災害時の備蓄食糧の確保を行った。
- ・備蓄食糧の経費 760 千円
- ・8月に災害BCPマニュアルを策定し、11月に200人規模の訓練を実施することができた。災害医療に対する体制整備に着手することができた。

離島・結核病棟患者数	平成 28 年度 実績値	平成 29 年度 目標値	平成 29 年度 実績値	目標値差
				前年度差
宇久【入院】患者数（人）	3,650	3,200	3,872	672
				222
宇久【外来】患者数（人）	20,264	20,000	20,098	998
				734
黒島【外来】患者数（人）	1,979	2,300	1,822	▲478
				▲157
高島【外来】患者数（人）	293	300	314	14
				21
結核病棟【入院】患者数（人）	774	1,500	1,020	▲480
				246

3 医療人育成体制の充実

(1) 医師の研修制度の充実

医学生実習及び臨床研修実習受入数は、平成 28 年度に引き続き年度計画目標を上回る実績となっており、専門医育成及び研修会の開催においても概ね計画通りの実施ができた。

① 学生教育の充実

学生の教育充実のため、平成 29 年度は、31 名の学生を受入れ、概ね計画通りであり、医学生の育成に貢献できた。

医 師（学生）	平成 28 年度 実績値	平成 29 年度 目標値	平成 29 年度 実績値	目標値差
				前年度差
医学生実習受入数	32	30	31	1
				▲1

②研修医育成

平成 29 年度は基幹型の受入れの目標値を大幅に上回っている。協力型についても目標値通りの受入れができた。基幹型研修医については平成 28 年度から在籍の 2 年次が 5 名、新規採用の 1 年次が 10 名となり、増加要因は、研修体制の整備、処遇の改善などに取り組むことができたことが考えられる。

医 師	平成 28 年度 実績値	平成 29 年度 目標値	平成 29 年度 実績値	目標値差
				前年度差
基幹型臨床研修受入数	5	10	15	5
				10
協力型臨床研修受入数	14	12	12	0
				▲2

③専門医育成

専門医の研修施設として、項目数の現状を維持できた。

医 師	平成 28 年度 実績値	平成 29 年度 目標値	平成 29 年度 実績値	目標値差
				前年度差
専門研修プログラム研修施設認定取得数（項目）	15	15	15	0
				0

④医師を対象とした研修会の開催

定期的に研修会を実施し、目標値、前年度から実績を伸ばすことができ、地域の医療の質の向上に貢献できた。また、地域の医師と当院医師の交流を図ることで、地域連携の強化につなげることができた。

医 師		平成 28 年度 実績値	平成 29 年度 目標値	平成 29 年度 実績値	目標値差
					前年度差
各種研修会参加者（人）	地 域	70	50	72	22
					2
	院 内	91	50	82	32
					▲9

(2) 看護師・薬剤師をはじめとする医療従事者の育成の充実

全体的な実績では、一部目標値に届いていない点もあるが概ね実施できている。

①医療従事者の育成

職員の能力の向上として、専門資格者数が前年の人数を維持できた。地域の看護師の教育については、長崎県看護キャリア支援センターでの研修実施により、当院での新人研修については人員が集まらず実施できなかったが、キャリア支援センターへ講師を派遣することにより、地域の看護師教育には貢献できた。

専門資格取得者	平成 28 年度 実績値	平成 29 年度 目標値	平成 29 年度 実績値	目標値差
				前年度差
【看護師】 認定看護管理者（人）	1	2	1	▲1 0
【看護師】 専門・認定看護師（人）	13	14	16	2 3
【薬剤師】 専門・認定薬剤師（人）	7	7	8	1 1
【その他の医療技術者】 専門・認定医療技術者（人）	60	70	62	▲8 2

研修受入・派遣	平成 28 年度 実績値	平成 29 年度 目標値	平成 29 年度 実績値	目標値差
				前年度差
長崎県看護キャリア支援センター講師派遣（人）	6	3	7	4 1
地域病院 新人看護職員臨床研修（人）	0	18	0	▲18 0

②学生実習の充実

市立看護専門学校が独自で研修先、講師を確保するようになったため、当院への看護学生の実習や講師派遣は前年に引き続き減少しているが、当院として、要請を受けている講師派遣は全て対応をとっており、学生の教育には貢献できた。

受入実績 (延人数)	平成 28 年度 実績値	平成 29 年度 目標値	平成 29 年度 実績値	目標値差
				前年度差
看護学生（人）	259	300	261	▲39 2
薬学生（人）	3	10	4	▲6 1
医療技術系学生（人）	41	40	36	▲4 ▲5
医療事務系学生（人）	9	5	5	0 ▲4

市立看護専門学校講師派遣	平成 28 年度 実績値	平成 29 年度 目標値	平成 29 年度 実績値	目標値差
				前年度差
医師（人）	38	33	39	6 1
看護師（人）	13	20	15	▲5 2
薬剤師（人）	1	1	1	0 0
その他の医療技術者（人）	4	5	7	2 3

③中学・高校生向けの体験・見学の充実

平成 28 年度から実施している佐世保市医師会との協力事業である高校生ボランティアの受入れについては、平成 29 年度は、17 名を受入れた。医師だけでなく検査技師等他の職種のボランティアも受け入れた。このほかにも看護部において、中高生の病院見学等も受入れており、次世代を担う医療従事者の教育にも貢献できた。

4 医学研究の推進

治験・臨床研究ともに目標値に掲げた研修数に取り組むことができ、その情報をホームページにて情報発信できた。

医学研究関係	平成 28 年度 実績値	平成 29 年度 目標値	平成 29 年度 実績値	目標値差
				前年度差
治験新規契約件数(件)	8	4	4	0 ▲4
臨床研究審査件数(件)	47	50	52	2 5

5 医療の質の向上

(1) 施設、設備の充実

平成 29 年 4 月に内視鏡センターを運用開始し、投資計画に基づき、採血室他改修工事をはじめとする施設改修整備、放射線治療装置等の医療機器等の整備を行い、高度医療及び急性期医療を提供するための施設・設備の環境を整えた。

平成 23 年度に導入した電子カルテの更新に着手し、一部更新完了して運用開始した。

(2) 医療従事者の確保

毎年行っている退職者補充の試験に加え、体制強化のため社会福祉士、臨床工学技士増員の採用試験を行った。

また、昨年に引き続き看護師、薬剤師については随時試験（応募状況に応じて実施）を実施し、早期の雇用にも取り組んだ。

医師についてはレジデントの処遇改善を図り、非正規職員であったレジデントを正規職員として採用した。

看護師については新規採用できているものの中途退職者もあり、目標値に届いていない状況であるが、随時募集や人材紹介会社との契約を結ぶなど人材確保に向け取り組んでいるが、確保が厳しい状況である。

また、働きやすい病院づくりの一環として、子育て中の職員向けに平成28年度開設した託児所の利用しやすい環境づくりのため運用見直しを図り、利用者数の増加に取り組んでいる。

医師の負担軽減のため、医師事務作業補助者の確保や看護師の特定行為研修受講に取り組んでいる。

結果としては、人材の確保で若干目標を下回っているものの、ワーク・ライフ・バランスに向けた環境整備や採用活動状況を勘案して、全体的な取り組みは概ね計画どおり進んでいる。

人員数	平成 28 年度 実績値	平成 29 年度 目標値	平成 29 年度 実績値	目標値差
				前年度差
医師（人）	95	98	115	17
				20
看護師（人）	515	527	507	▲20
				▲8
薬剤師（人）	18	25	20	▲5
				2
医療技術職（人）	77	86	85	▲1
				8
事務職等（人）	51	50	54	4
				3

(3) 患者サービスの向上

患者が安心して医療を受けることができるように、昨年同様医療相談の充実を図るように取り組んだ。また増加している外国人患者に対応するため iPad を使った通訳サービスを導入するなど全体としては概ね計画達成できた。

①患者中心の医療の提供

月 1 回の病院運営会議を実施し、病院の経営状況の報告、分析、検討および改善に関すること、院内感染防止、医療安全管理対策、課題について各診療科、各部署の代表者が共通の認識を持ち健全な病院運営に取り組んでいる。

また、患者個々がかかえる病気のみでない社会的、経済的、家族的な問題など様々な背景をとらえ、患者家族の思いを把握し、多職種によるカンファレンスを行っている。各職種の職員がそれぞれの専門視点から患者の課題や問題点を検討し、共有した医療情報をもとに治療方針、援助方針を立て、チーム医療を提供することができた。

②快適性の向上

外来患者、入院患者に対し平成 29 年 10 月 16 日～20 日にかけて患者満足度調査を実施した。満足度に関し目標値より平成 28 年度同様若干低くはあるが、療養環境改善のため、個室の改装、浴室内の整備、外来トイレの改装などを実施し、外来採血室の改装により、外来の待ち時間短縮の一助になるよう取り組んだ。また、外来での処置を受ける患者の安全、安楽を優先にし安心して処置が受けられるように内科処置室の改装にも取り組んだ。

③患者からの相談に対する対応の充実

総合相談窓口担当看護師、がん相談員、医療ソーシャルワーカーを配置し医療相談・福祉相談・退院調整を行った。治療を受けるうえでの心配事や、療養、介護に関して、患者・家族が抱えている様々な問題や悩みの相談を受けている。

退院後自宅で安心して療養できるように入院中から支援し、自宅療養のための環境を整えるために退院支援を行っている。

高齢者の独り暮らしが増加傾向にあり、退院して自宅に戻ることになっても、安全に自宅で療養生活を送るために、経済的な問題やマンパワーの問題など様々な問題に対して、患者家族の状況、自宅環境を考慮しながら関わっている。入院早期に患者・家族と大体の目標設定を共に行い院内の様々な職種の職員が患者を取り巻くチームとして連携して動き、さらに地域の関連機関との連携を図り、生活に結びついた支援を行っている。相談支援件数は昨年より減少

している。医療ソーシャルワーカーの人員不足によるところが考えられる。相談件数 5,454 件のうち医療ソーシャルワーカーによる退院支援は、2,366 件（前年度比 15%減）苦情件数 149 件（前年度比 18%増）

④職員の待遇改善

待遇の向上に関しては、平成 29 年度も全職員を対象として院外講師を招き研修を実施した。研修への参加率は目標には到達していないが、研修内容に関しては日々の業務や、患者家族への対応に大いに役立つとの満足度は上がっている。

⑤患者の利便性向上

待ち時間の原因が多岐にわたり、改善に時間を要することから解消には至らなかった。平成 29 年度においては、外来会計における待ち時間の現状、原因を把握するため、外来会計に要する時間を計測した。外国人患者の受入れ対策として、以下の取り組みを行い、受入体制を強化することができた。

- タブレットタイプの通訳サービス導入
- 外国人患者受入れ体制整備支援間接補助事業の実施
 - ・院内サイン、ホームページ、文書（外来案内等）の多言語化
 - ・専任職員の配置（英語通訳・翻訳）
 - ・マニュアル整備
 - ・職員の名札の英語表示追記
 - ・外国人患者向けの掲示板設置
 - ・備品購入

患者サービス関係		平成 28 年度 実績値	平成 29 年度 目標値	平成 29 年度 実績値	目標値差
					前年度差
患者 満足度	5 段階評価（平均値）	4.2/5.0	4.8/5.0	4.3/5.0	▲0.5 0.1
	満足した人の割合(%)	88.7	93.0	88.8	▲4.2 0.1
	不満な人の割合(%)	2.4	2.0	2.5	0.5 0.1
患者相談件数（がん相談除く）（件）		6,297	5,000	5,454	454 ▲843
職員 待遇研修	参加率(%)	30.6	40.0	34.2	▲5.8 3.6
	満足した人の割合(%)	86.4	75.0	88.8	13.8 2.4

(4) 安全性の高い信頼される医療

医療安全、院内感染対策研修会受講率は、目標値達成でき、受講率を大きく伸ばすことができた。医療法をはじめとする関係法令等の遵守のために新人職員に対してはコンプライアンス研修を行った。

①医療安全対策の充実

医療安全研修会の受講率は、1 回目・2 回目とも各 94%であり、目標値 90%に対しては目標以上を達成できた。未受講者に対して、受講を頻回に促したことで、平成 28 年度の医師の受講率が 50%台であったが、平成 29 年

度は 76～77%と受講率が上昇傾向にあり、今後も受講率の向上に努める。

②院内感染対策の充実

院内感染対策講習会受講率は目標値 90%に対して 94%であり、平成 28 年度より上昇傾向にあり、今後も受講率向上の工夫に努める。

・インフルエンザ対策に関して平成 28 年度と比較して同一時期の罹患職員の報告数は 42 名から 61 名と増加した。入院患者では同一時期の発生数は平成 28 年度 15 名から平成 29 年度 40 名と増加し、アウトブレイクが 2 病棟で発生したが、早期対応で早期に終息できた。

今年度は早い時期に流行が始まり、A 型、B 型が混在したため、全国的にも罹患者が多い年となった。

・新規 MRSA 年間発生件数は平成 28 年 50 件から平成 29 年 63 件と増加傾向となった。検出数の多い病棟への巡回を行い、手指衛生や環境整備の指導を行った。

③法令の遵守と情報公開

診療録（カルテ）等の個人情報の保護並びに情報開示については適切に行うことができた。医療法等の関係法令に基づく申請も適正に行った。

医療安全・感染対策	平成 28 年度 実績値	平成 29 年度 目標値	平成 29 年度 実績値	目標値差
				前年度差
医療安全研修会受講率(%)	85.5	90	94	4
				8.5
院内感染対策研修会受講率(%)	85.5	90	94	4
				8.5

(5) 臨床指標の充実及び開示

平成 29 年度分についても、疾病統計や D P C データによる情報の公開をはじめとした臨床指標について、ホームページにより情報提供を行うことができた。

第 3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

1 法人としての管理運営体制の確立

(1) 適正な法人管理体制の構築

計画的な理事会開催、定期的な診療実績、財務状況報告を行い、進捗状況を確認しながら、法人全体での事業目標達成に向けて、取り組んだ。

(2) 効率的な病院運営

理事会、経営戦略会議及び経営会議を通じて、法人運営に関する重要事項の決定を円滑に進める中で、人材確保や設備投資など、迅速かつ柔軟性のある予算執行を行い、効率的かつ効果的な事業運営を行った。また、民間的手法を取り入れるため、コンサルタントを導入するなど、戦略的な経営に着手した。

2 人材の確保と育成

職員の専門性や能力を向上するための研修を計画的に実施することができた。また、平成 28 年度開設した託児所の運用見直しをし、利用しやすい環境にすることで利用者の増を図った。

第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

1 経営基盤の確立

経常収支比率は目標値を下回ったが、医業収支比率は目標を達成することができた。

毎月の収支状況を経営会議へ報告し、運営委員会において毎月の経営指標の現状説明等を行い、健全な病院運営に取り組んだ。

収支比率	平成 28 年度 実績値	平成 29 年度 目標値	平成 29 年度 実績値	目標値差
				前年度差
経常収支比率(%)	104.4	100.9	100.4	▲0.5
				▲4.0
医業収支比率(%)	98.2	94.1	94.6	0.5
				▲3.6

2 収益と費用の適正化

(1) 収益の適正化

入院患者及び外来患者、病床利用率ともに、平成 28 年度実績及び平成 29 年度目標値を下回ったが、在院日数の適正化、逆紹介の推進、高度医療の提供を行った結果、入院診療単価及び外来診療単価ともに、平成 28 年度実績及び平成 29 年度目標値を大きく上回り、伸ばすことができた。

経営改善計画による取り組みを進め、小幅ではあるもののコスト縮減を実現した。今後も継続して、経営改善を進め、収益確保対策等にも取り組んでいく必要がある。

患者数等	平成 28 年度 実績値	平成 29 年度 目標値	平成 29 年度 実績値	目標値差
				前年度差
(入院) 年間患者数 (人)	184,281	187,500	178,139	▲9,361
				▲6,142
(入院) 新規年間患者数 (人)	13,090	13,080	12,958	▲122
				▲132
(入院) 一日平均患者数 (人)	505	514	488	▲26
				▲17
(外来) 年間患者数 (人)	207,517	208,700	205,663	▲3,037
				▲1,845
(外来) 一日平均患者数 (人)	854	855	843	▲12
				▲11
(入院) 診療単価 (円)	61,882	61,015	63,061	2,046
				1,179
(外来) 診療単価 (円)	19,066	18,602	20,119	1,517
				1,053
病床利用率(%)	82.6	84.1	79.9	▲4.2
				▲2.7
平均在院日数 (日) ※診療所を除く	13.0	13.0	12.6	▲0.4
				▲0.4

(2) 費用の適正化

人材確保プロジェクトによる看護師確保の取り組みや熊本市民病院派遣者の受入を行うなど人員の確保に努めながら、適正な人件費比率を維持し、平成 28 年度実績を上回ったものの、目標値は達成することができた。

医薬品や診療材料の物品調達に係る価格交渉は、継続して実施しているが、抗がん剤治療に用いる薬品費の増加や手術における診療材料の運用の影響等により、薬品費比率及び診療材料費比率ともに、平成 28 年度実績及び平成 29 年度目標値を上回った。

後発医薬品の使用については、積極的に取り組み、平成 28 年度実績及び平成 29 年度目標値ともに上回る事ができた。

①適正な人件費比率の確保

人件費比率	平成 28 年度 実績値	平成 29 年度 目標値	平成 29 年度 実績値	目標値差
				前年度差
人件費比率(%)	50.0	53.1	52.4	▲0.7
				2.4

②物件費の節減

物件費比率	平成 28 年度 実績値	平成 29 年度 目標値	平成 29 年度 実績値	目標値差
				前年度差
薬品費比率(%)	17.5	16.7	17.6	0.9
				0.1
診療材料費比率(%)	14.0	13.6	14.3	0.7
				0.3
後発医薬品使用率	平成 28 年度 実績値	平成 29 年度 目標値	平成 29 年度 実績値	目標値差
後発医薬品使用率(%)	79.31	80.00	88.78	8.78
				9.47

第 5 その他業務運営に関する重要事項

1 救急ワークステーションの充実

救急救命士の教育研修の充実のため、平成 29 年度は 18 名の研修・実習生を受け入れることができ、救急隊員の技術の向上に貢献できている。

2 ボランティア制度の活用

5 名のボランティアを確保し、院内の案内、受診手続きの補助、車椅子の清掃、読み聞かせなど様々なボランティアの受入れを行うことができ、患者サービスの向上ができています。また、ボランティア受け入れのポスターやチラシを設置することにより、当院のボランティア活動の周知が図れている。

3 分かりやすい情報発信

分かりやすい情報発信として、ホームページの活用、健康・保健知識の向上を目的とした地域住民向けの講演会の実施、また、年4回発行している広報誌の発行により情報提供をすることができた。市民向けの講演会は年に11回開催し、のべ1,000名程度の参加があり、地域住民の健康・保健知識の向上に貢献できた。

市民向け研修会等	平成28年度 実績値	平成29年度 目標値	平成29年度 実績値	目標値差
				前年度差
健康教室（回数（回）・人数（人））	(10)787	(11)1,100	(10) 1,063	(▲1)▲37
				(0)276
市民公開講座（回数（回）・人数（人））	(1)88	(1)100	(1) 108	(0)8
				(0)20

6 佐世保市地方独立行政法人法の施行に関する規則で定める事項の実施状況

(1) 人事に関する計画

平成29年度は事務部門において8名のプロパー職員を採用し、新人職員への専門研修を実施した。

(2) 施設及び設備に関する計画

施設及び設備に関する計画については、入札により事業費を抑制し、計画どおりに実施した。

(単位：億円)

施設及び設備の内容	実績	財源
医療機器等資産の購入	5.3	佐世保市長期借入金 4.5、自己資金 0.8
電子カルテ等更新	4.2	佐世保市長期借入金 3.8、自己資金 0.4

(3) 法第40条4項の規定により業務の財源に充てることができる積立金の処分に関する計画

実績なし